夕刊 磐城新聞
十一月一日發行
定價 一ヶ月金五拾五錢（郵税共一ヶ月金六拾五錢）
發行所 磐城新聞社
〔日曜祭日翌日休刊〕

創作 紅涙（圭）

加藤純弘

見物の人々は首無し死體と、啞の殺人魔に興味を持ち、或る者は激昂して啞を殺して了へと怒鳴る者もあつたが、警官に遠ざけられて了つた

岩造がかゝえて來た着物と肌着が擴げられ、見るも無殘な雪枝の首が現はれた

『うむ、ひでゑ事をしたもんだのう、鋸で首を挽いたんだな』

一同の視線は松吉の顔に向いた、莚は除かれた、白いふくよかな、しかし乍ら一夜土中に埋められて土まみれになつた處女の肉體が一糸まとはぬまゝ。皆云ひ合したやうに息を呑んで、せきばらひ一つ起らなかつた。喜作はもう叫び聲一つ出ないほど悲しんでゐた。

やがて死體の検視も濟み、殺害の實地調査も終へて稀代の殺人鬼啞の松吉と、松吉をかくまつた岩造、富士乃二人は東へ。雪枝の死骸は戸板に乘せられて西の方A町、喜作の家へ

近所の人達が急を聞きつけて迎へに來た。雪枝は懐かしの吾が家へ冷たい骸となつて歸り着いた

六

昨夕から降り出した雨は暁頃から小降りになつたが氣温はいちじるしく降つて肌寒い日となつた、喜作の家は馬糞と線香とがごつちやにたゞよつて、暗い部屋隅に安置された白木の棺、その前の古机にはサイダーの空瓶に生けられたコスモスが淋しく搖れてゐる、ロートクのにぶい光りがほの明るく畳に這つて、爐端に集まつてゐる人を照らしてゐた

たつたは昨日雪枝の死骸に抱きついて

『俺が殺した、俺が殺したのだ！』と

氣が狂つたやうに泣き叫んだ、昨晩も一夜泣き明した、泣いて、泣いて眼を眞赤に泣きはらしてゐた

月光寺の僧侶が三人、喜作とおつたから涙ながらに雪枝の悲慘な死を物語り、是非極樂へ行けるやうに御回向して欲しいと賴まれ、しめやかな讀經が始まつた

朗々として若い僧の唇から漏れる聲明の音律は、或は高く、或は低く、かすかに搖れ、不知不識の中に涙を誘はれて、忍び泣きに泣く聲が尚更哀れさをそゝるのであつた

潮聲硯靜抄帳

天野雨山選

新涼や蚊帳うとんずる女ども　晩霞

秋涼し屋上にある草の鉢

花蔓の名殘りや垣の秋涼し　竹羊

開窓の朝日の影や秋涼し　長貴

新涼や軒にゆれゐる大糸瓜　水明

新涼の闇にひゞきし水の音　芳月

長旅のはしめて涼し萩の秋　文狂

新涼や鋪道をたたく雨の音　武門

新涼や廟におよぶ郁子の蔓　松堂

社會の今日

11月2日

△平民の乘馬を禁ず（明治二）△帝大の赤門國寶指定（昭和六）△我軍撲炳柵軍の兵營を爆撃す（同七）△全日本陸上競技聯盟總會平沼會長初め幹部總辭職（同八）

○

しろ〳〵と夜空はふけて山黑し、秋をいそげる瀬のひゞきかな　太田水穂

捨案山子脊に霞置く刈田かな　紀水

講談 戸隱奇譚 山の怪秘（29）

丸山寛雄作　浪木眞書

大誓願の怪（五）

岡庭典膳は、天靈から精學の事を語られたとき、思はず猪口を手にしたまゝ聞き耳を立てた。どうせ今から西岳西光寺へ戻つたところで面白い目の出やう筈はない。却て、あの夜の果し合を根に持つて、顯光寺派のために、どんな復讐をされるか知れない。この上は精學でも尋ねて今後の方針を相談して見やう、精學とて、自分と同じ眞言の寺侍出である。話せば解らぬことはあるまい。かう咨が胸に問ひ、胸に答へた岡庭典膳、冷えた猪口を靜かに口唇へつけた。と、そのときである。また〳〵典膳の左の手の甲にうつすらと浮び出て來たのは謎の黑痣である。これは岡庭典膳が父祖より傳はる肉体的の遺傳現象であつて、急激な精神の昂奮に逢へばひとりでに手の甲の皮膚ににじみ出てくるのであつた。然もその際は兇暴に近い衝動の發作から、場所も辨へず無分別なことを仕出かすこともあるのだ

今は幸ひその現はれる始めなので、典膳慌てゝ手を袖に引込め右手を出して猪口を持つた

『何を、ぼんやりしてゐらつしやいます。猪口のお酒がこぼれるではございませんか』

『いや、あまりこの般若湯がおいしいので、味はひながら呑み下してゐたところでござつた』

典膳は巧にてれかくしを言つたが、手の甲に現はれ始めた黑痣のことが氣になつてたまらぬ。しかしこの程度の出現では自分の意志によつて、抑制できるのであつた。そこで典膳はつとめて感情の嵐を抑えるやうに努めた

『さ、岡庭様、も一つ召上れ』

天靈は岡庭の傍へひたと寄り添つた

むつちりした感觸、らん熟した四十年增の肉体である。典膳は、こそばゆい氣持ちになつて來る

『では、これきりで御飯といふことにして下され。拙者これ以上は飲けませぬ』

『まあ、まだ宜しいぢやありませんか。それならこんどは妾がお呑ませしてあげませう』

天靈は、かう言つて猪口に酒を移すと、いきなり典膳の唇へ持つて行つた

典膳は天靈のために囚はれの身となつた、むせ返るやうな情熱のしがらみは若き典膳のもがき出ることを許さない。快よい感能の刺戟にあつて、岡庭典膳は天靈が唇につけてくれた猪口を傾ける度、ゴクリゴクリと咽喉へ落した

恰度そのときである

この離書院へ近づく足音、足音といふよりは、白襦子の足袋が拭き磨かれた欅廊下を辷つてくる氣配

天靈は典膳の身体に寄り添つてゐたのを離れ、何氣ない風を裝ふ

部屋の前で足音と衣摺れの氣配は止まり靜かに流れるやうに黑塗千本格子の際子が引き明けられた

墨染の法衣を纏つた中年の尼僧

『お師匠様、只今、竹丸殿の戒香殿が嚴しい掟を破つて、お庭の築山の蔭で不義を働いてゐるのを見咎めました故取押へました、如何致しませう』

天靈は、かう言はれた瞬間、どきッとした。無理もない現在の自分も典膳と、人目を遠ざけて喃々の密語を交さうとしてゐる際ではないか

『竹丸と戒香は、とうに妾も怪しいと睨んでゐたのです。さうした不義を致した上は、屹と成敗しなければなりません。いゝから縛つた儘、これへ曳いて來やれ！』

天靈は見る〳〵柳眉を逆立てた

赤城山行

新津亭

○遊行の人ら歸りて山の上の原に寂けき夕日のひかり

○きほひたちて日ごろあり經し鋭心に泌みて思ほゆ山の日の昏れ

○汗たりて路ゆくときも吹く風のいたく涼しき國原にわれは

○飯米饑饉繭値下押しのラヂオニユース今宵も縲き情痛めり（懐郷）

○蠶齧はつひにむなしアンゴラ兎飼はむと故郷のたよりなりけり

舞踊と教育

益田純

近年盛んに、情操教育に就いて種々な論議が提唱され小學兒童に於いても副讀本式の童謠讀物が刊行され、また女學校に於いても、舞踊、音樂と云つた科目が加へられて情操教育の涵養に力を盡されてゐるが、實際問題として之を觀るならば未だ『日暮れて道遠し』の感深きものがある。それに就いて種種な原因が内在してゐる事と思はれるが、一般に西洋音樂に對する認識缺如が第一の原因ではなからうかと私は深く思考するものであります

その一例として童謠舞踊に就いてこれを觀るならばその殆んど凡てと云つていゝ位、日本舞踊出身の師匠が之に當つてゐる。勿論、西洋舞踊の基本が日本舞踊のそれに比して遙かに難解であることも洋舞が兒童連に取入られぬ一原因をなしてゐることであらうが。逐年洋裝が和服の領域を侵してゆく情勢か、[illegible]ろ〳〵西洋舞踊が兒童の世界に攝取され、兒童の洋舞といふものが生れて來てもよからうと思ひます。今回は家庭的情操教育から觀た童謠舞踊に就いて簡單にお話してみませう

○

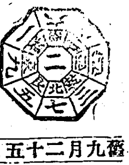
第一に擧げられるのが『リズムと兒童の感受性』と云ふ事です

『こゝは何處の細道ぢや
天神樣の細道ぢや
ちよいと通してくださんせ
御用のない者通じやせぬ
…』

西の空が夕燒けに赤々に染まる頃、田圃の小徑や町の辻等で可愛い子供等が手をひいて、無心に唄ひ戲れてゐる有樣は美しい狀景です。斯うした樂しい光景もここ二、三年前の事で近頃は子供等のあどけない口から流れ出る唄は

『ハアー、踊り踊るならチヨイト東京音頭ヨイ〳〵』とか『花は霧島煙草は國分……』と云つた子供には適はしからぬものばかりです

二日　日出 六、〇三　日沒 四、四六　月出前 〇、五七　月沒後 一、五三　滿潮 前〇、四五 後二、一五　干潮 前七、四五 後八、五〇



舊九月二十五日　金曜　丁丑　先負　平　婁宿　新十一月二日

諸判定廳諸　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神宮館

▲一白の人　理想通りには行かぬ日臨機の處置を取べし▲二黑の人　技巧は一切役に立たず眞面目に勵まるべし▲三碧の人　損害多大なる日萬事控ゆるが安全金談亦凶▲四綠の人　人の口先に乘りて思はぬ損失を招く事あり▲五黃の人　他人を賴まず自力にて一家協力するが安全▲六白の人　望みは叶へども書付類にて迷惑する事あり▲七赤の人　今日の仕事は永く繁榮するの基と爲るべし▲八白の人　沈む心を浮立たせて勵まされば運勢傾かん▲九紫の人　稀に來たる幸運日起業開店名弘めなど殊に吉

廣告

マグネット ダイナモ バツテリー
試驗機完備は確實を語る
久野電氣工業所
平 紺屋町（呼電）三六六番

ラヂオとデンキの店
古山電氣商會
平町二丁目 警察署通り

專門ノ店
電灯メートル工事
同 特種一般工事
動力工事
木村電氣商會
平新川町 電一七九番

前田醫院
院長 前田清美
植田町電話一二四

良い運動具は良い選手を作る
○○野球用具 競技用具 ユニホーム類
斷然!!! 安賣
一チーム分は特別御相談致し升
競技用スパイク
常に新しき型と念入りな製作 弊店自慢の品 四、五〇
御用は 田町 大塚運動具店 電話七七番

◎肥料と!! ◎石灰!!とは
御撰擇が必要です。
更生の産業（肥料）石灰 弊社特製品は 産業印魚粉肥料
……他の追隨し得ぬ質實本位の……
……優秀品であり廉價を以て……
經濟戰線上に於ける非常時の秋！
農村各位の爲に………!!
營業課目
各種石灰製造販賣
魚粉肥料製造販賣
建築壁材料製造販賣
月賦償還式相互建築
士木建築設計請負
常磐線四倉驛前
昭和産業合資會社
電話一八番

外科
內臟外科
レントゲン線
▷病室完備◁
醫學博士 諸橋鐵彌
新川町二七（電四六四）

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
入院隨時 病室完備（看護婦見習一名入用）
醫學士 山内亨吉
山内醫院
電話六九一番

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
◎秤ノ取繼・垂糸・修覆致シマス
關內藥局
電話四〇番

銘木ト建築木材ノ御用命ハ今一番勉强スル當店へ
內外銘木 建築材一式 便利瓦
平町紺屋町
織田材木商店
電話四六〇番
榧優良材碁將棋盤アリ格安讓リタシ。

産科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井坂醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい……
直に家政婦を派出します。
親切叮嚀 ……料金は極めて低廉です
姙産婦の御家庭　お留守居番
御病人の付添　年寄やお子さんの付添
炊事や雜用
平町紺屋町二（電話二二）
上原家政婦會
會主 産婆 上原通子

磐城家庭婦人會
皆樣方の御手不足を補ふ家庭婦人會が出來ましたどうぞ御試用下さいませ。
親切。迅速。
◎會員募集（入會金ト維持費ハ申受マセン）
平町字田町五（元郵便局ウラ）
駒井ヒデ
電話三九九番（呼出）

貸切自動車ハ親切迅速ノ
平タクシー
電話七九番ニ
御用命ヲ願ヒマス
平三丁目警察署通り
遠出ノ際ハ又御相談ヲ

內外建築材 建具材
入 阿部材木店
磐城國平町（公園下）
阿部好利 改メ（章）
電話四九四番

◎日本石油株式會社特約店
フイツシヤサン石油株式會社瓦油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店 水戸線下館驛前（電話五五番）
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、植物油、胡麻種、水、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三）（電話八二四）
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
◇海上給油及油槽所
久慈濱、大津、平潟、小名濱、江名濱

原料米の騰貴が因か 消費量丈け造らぬ酒屋

仕込高から眺めた 郡下釀造界景氣展望

郡下三十七軒の酒造家に對する本年度第二期分酒造税十四萬三千三百三十二圓七十五錢は、過般來之が調達に苦辛慘憺たりし當業者も無かつたでは無いが、昨三十一日の納期内に無事完納となつた次期は來春二、三兩月に亘り矢繼早に三、四期分を納めねばならぬので假令漸く商品現金化の季に入るとは謂ふものの仕込原料米代金及雇人諸給支拂ひ直後の傷痍新なる折柄とて買り掛け代金の回收其他其時こそその調達に奔命するが毎年の例である、尚ほ今酒造年度の仕込高は當業者が地方に於ける需給の實際に鑑みたると、原料米石當り十圓、即ち千石一萬圓の値上りが因をなしたものか前年の一萬四千七百七十七石に對し約一割減の一萬三千六百石で、郡内消費量概算一萬五千石に對し稍々及ばざるものがある

志望の多いのは 鐵工と看護婦

來春卒業兒女の爲 平紹介所で斡旋準備開始

平職業紹介所では今春小學卒業の求職希望者中その大部分である約七十名を東京方面に斡旋好成績を收めたが今年も弗々二學期も終りに近づいたので來月中旬頃これが斡旋の準備協議會を開く事になつたが從來通り各連絡學校と提携、同所に於て智能檢査と更に必要によつては性態檢査を行ひ適材適所主義で行く筈で前例に徵し男は鐵工、女は看護婦が多い見込みであると

演習中移動警察開始

平署員けふから出動

來る二十日迄栃木、群馬兩縣下で行はれる陸軍大演習期間中常磐線通過各列車の移動警察は主として平署の手で行ふ事に此程原刑事課長が來署打合せたので同署では愈々今一日から署員が交代に出動開始した

平各校制覇

昨日の兒童籠球戰

郡下第三區小學兒童籠球大會は昨三十一日午後二時より平第一(男子)同第二(女子)兩校コートに於て下山田(磐中)永島(磐女)その他審判の下にリーグ戰で開催され來る二十三日の郡大會への選手權は男子尋常科は平第三、同高等科は平第一、女子尋常科同高等科は平第二に獲得された

△男子尋常科
平第一 41—6 内郷高坂
平第三 22—7 平第一
平第三 54—7 内郷高坂
△同高等科
平第一 77—8 小川
△女子尋常科
平第二 16—2 平第三
△同高等科
平第二＝不戰一勝

。。。。。磐女競技テスト、磐女校では今一日午前八時より競技テストを行つた

寒さに向つて 現金は動く

平局の去月成績

平局去月中の窓口現金の動きは
爲替受入一、四九六口三二、三二五、三六錢、拂出一、五七四口六一、二六九、五〇
で冬荷の動きから前月に比し受入三千五百二十五圓七十七錢、拂出八千六百二圓十五錢の増加を示して居り貯金も亦
受入一四八、六八六、六七 拂出一五八、八〇〇、二八
で受二萬六千六百九十三圓四十八錢、拂一萬四千七百十九圓三錢を共に増加を示し、尚寒さに向ふ故國の家人を按じたものか外國爲替拂出前月の三口八十圓に比し八口四百四十四圓七十二錢あつた

瘦せ細る禾穀に 涙する凶作農民

平税務署の免租踏査進む

平税務署に於ける冷、旱害凶作地、千七百六十八筆の三坂村を筆頭に、該當二十八ヶ町村六千筆四百町歩の三分作實地調査は、去る二十九日以來監督の唯野署長をはしめ佐藤直税課長外二名が各區域を分擔出動中で今月十日終了の豫定であると云ふが多數申請中には勿論三分作に低下せざるものも若干あるらしい反面、殆ど皆無に近い處もあり、方面によつては慘狀正視するに忍びざるものも尠からぬ模樣で、一般の觀測では之が踏査により恩惠に浴する零碎な地租位は目下の窮迫した農民の生計上大局から觀て眞に燒石に水程の微弱な影響に過ぎまいと云はれてゐる

純情貧者を想ふ

惻々の同情を叙べ 匿名平商生の義捐

今一日早朝平町役場を訪れた平商校生徒が無言の儘一通の手紙を置いて立去つたので吏員が早速開いて見ると窮農に同情した左記書狀に一圓二十錢が同封されてあつたので役場でも少からず感激し此の篤行者を學校當局に問ひ合せる筈

私達の住む此の東北地方の農村が今夏來の冷氣と濕潤な惡天候のために農作物の被害が激甚にして何百名何千名とも知れない小學生が飲食の爲に日一日と瘦せ衰へて行くと云ふ何といふ悲しい事でせう、私は新聞や人々の話を聞いて涙をそゝられました、飯米の代用食として牛蒡葉、蕗の葉、栗稗等を食してゐるとの事こんな話をきいた時に私達は何んと幸福な事でせうか。私はこの貧しい人々の心持がどんなものであるか察するに餘りあります、此の金は私が働いて貯めたものです、このわづかな金が社會福祉の一端となり、あの可哀そうな罹災者を一人でも多く糊口すればこんなうれしい事は無いと思ひます(原文) 一匿名商業生

全村に奬勵 麥作ご製炭を

當面を凌ぐ山間部

郡内最惡の冷寒被害地と云はれてゐる三坂村は取分け上三坂が目下全村の約三割飯米欠乏を來してゐるが稻作も平均二分作と云ふ慘狀でこれが補塡の副業として期待してゐた養蠶も引續く安値に祟られタバコ耕作も冷寒の爲思はしくないので今後は愈々需要季に入る木炭業に主力を注ぎ國有林の特賣を受け大いに炭燒きを督勵し尚不足飯米の代用食として麥作付を全村に亘り奬勵する事になつたと

上遠野村 更生施設

自力更生村に指定されない上遠野村では最近自發的に更生計劃を樹立し二十四名の委員を擧げ昨卅一日午前十時から小學校に第一回の委員會を開き種々協議した結果大体總務及社會敎化の經濟部に分け、尚總務部は全村各部の經營基本調査をなす外生産部を設けて各部落毎に指導地を設置し農閑を利用しては月毎位に座談會、講演會を開催全村にこれが趣旨徹底に努むる事になつたと

可愛い娘を賣るな

凶作受難の貧農へ 紹介所から救ひの手

凶作と繭値の慘落に切羽詰つた貧農が最後の手段に可愛い娘を身賣りさせると云ふ悲劇が漸く各地に喧されるに至つたので縣社會課でもいよ〳〵積極的にこれが娘身賣防止的對策に乗り出したが平職業紹介所でもこれが通牒により町役場と連絡適當の方法によりこれらに救ひの手を延べる事になつたがこれに關し同所では各町村に對し絶へず求人求職者を知らせて置き町村からこちらへ該當者を送れば確實なる希望口を斡旋するとの事で尚は今後は町村役場に簡易な紹介事務を取扱はせる事になるであらうと

。。。。凶作義金募集。平町役場では縣からの通牒により來月三十日迄第一回の凶作義捐金募集を行ふ

電話使用料納入好績

昨卅一日納期の平局今年度第三期電話使用料加入者七百名、此の金額一萬五千四百七十七圓五十錢中納付者は五百七十六名一萬二千八百七十六圓二十五錢で前期の六割七分から一躍八割二分と言ふ同局に於けるレコード破りの好成績を示した尚今一日中に納付せざる者は斷然通話を停止されるので完納するものと見られて居る

幽境川前附近 五

山口彌一郎

一交通路に依つて普遍的に發達した地方民家は一六粁を杜絶せしめて停車場のみに依る統制とは變つたのである。然し又最近の自動車及びトラックの交通機關が此等を復活せしめつゝあるのは興味多い現象ではなからうか。これ又夏井川溪谷にのみ見られる風景でもなからう

次に水力發電所の發達であるが、これは又餘りにも慘めな所謂齟齬した風景とも見るべきものを展開してゐる。夏井川溪谷に沿ふ水力電氣の一〇、〇〇〇馬力以上は日立の久原第一、第二發電所が占めてゐる。他は一部東部電力がもつてゐるが、經濟統制の矛盾と云はうか、餘りに小戸數が溪谷に散在してゐる爲めか、朝夕溪谷に接しはるか發電所のまばゆい電燈を眺めながら昔ながらのランプを燈す民家を見受けるのも異である。さはあれこれ等の文化景が大自然の美に配して一つの夏井川の溪谷美をつくつてゐる。汽車で川前に行き小川郷まで徒歩一六粁約四里の行程が普通の觀賞路で江田信號所で紅葉期間列車が臨時停車するならば川前・江田間は最も溪谷美の優れた行程で經濟的でもある。又、平町より自動車でドライブするもいゝ。健脚家ならでは望まれまいが小川郷・川前の逆コースも又格別である。私には江田・小川郷間の平凡な雜木林の木蔭道も棄て難い印象を殘してゐる。秋の好一日を比較的紅葉にめぐまれない當地の人々がこの溪谷を間近にもつて、これ等の自然、人文の組み立てた溪谷美を紅葉に塗つた風景にひたり、己れまた溪谷美の紅一點となるもあながち人生の不必要な一部でもなからう

(昭和九・一〇・二四夜)

投槍

投書歡迎

。。。。。有閑マダムに告ぐ

◇私の近所に有閑お姿さんが住んで居ります。彼女の趣味はピアノなのですそのピアノも一年近くもなるのにド、レ、ミ、ハとラヂオ体操位しかひけないんです

◇そのお姿さん有閑なるにまかせて朝の六時から夜の十一時頃までトン〳〵やるんです。ド、レ、ミ、ハとラヂオ体操を・そのド、レ、ミ、ハとラヂオ体操を私も一年近くも聞かされて神經衰弱になりました

◇迷惑して居るのが私一人かと思つたら私の家の者は勿論近所近邊の者も皆迷惑して居るんです・御出入の野菜屋さんから鮮魚屋さんまで迷惑して居るんです、然し御當人はベートベンの樣な氣をしてひいて居るんです、あきれます

◇近所近邊は そのお姿さんのウワサで一ぱいです 有閑なマダムよ、若干つゝしんだら如何です。趣味でも變へたら如何でせう、他人の迷惑しない樣な趣味に

(平町莫耶呂生)

青雲の志に 幻滅の悲哀

家出少年に歸心

内郷村白水三坑下幸七二男三浦亭(一六)は去月上旬家出行方捜索中最近警視廳刑事部收容部から保護中だが歸宅を望んで居る旨今一日平署に通知あり早速親元へ知らせた

出初めた秋刀魚景氣

金華山沖合で三萬五千尾 今曉四倉に水揚げ

今春來の黒潮異變に祟られた小名濱近海は例年ならば秋刀魚の豐漁續きであるに更に漁獲がなく鰯漁なども遠く仙臺金華山沖に洄游して居る狀態なので秋刀魚景氣を目安にしてゐたカフェー料理業者も少からず悲鳴を擧げてゐたが久の濱町江の網刈込伊之吉氏所有第二稻荷丸が金華山沖合に出漁中秋刀魚三萬五千尾を釣獲今早曉四倉濱に入港水揚げ一錢五厘、今年はじめてのサンマ景氣に賑つてゐる

平署管内 組頭會議

今一日午前十時から同署會議室に開き火災警防、稻盜難防止警戒、及秋季消防檢閲、防火運動實施、大日本消防協會總會事業費負擔查定に關し協議した

誘拐されたか？

大体の足がついて 出奔酌婦に捜索願

内郷村大字内町字金坂四二料理業酔月事松本スヱ方酌婦木元ユキ(二五)は去る七月二十六日前借二百十八圓で住み込み翌八月二十二日夕刻無斷家出行方を晦したが最近東京市本所區業平橋一丁目三松島屋旅館に止宿中たつた藤井學(二七)に誘拐されたらしい形跡あるので今一日抱主から平署に捜索方を願ひ出た

贋刑事へ 懲役八ヶ月

昨日平區で判決

平町正月町一居住草野村下神谷生れ煉炭工場職工坂本信之助(三九)が平署の刑事を粧ひ同町新川淵で密會中の平窪村某女を威喝、金錢を强要した事件は昨卅一日午後二時より平區で香西判事係り清田檢事立會で公判開廷、求刑十月に對し懲役八月を即決言渡された

赤井 林野 疑獄一段落か

一抹の暗翳を殘し乍ら 宮内前組合長昨夕歸宅

赤井村第一林野保護組合の横領事件は既報の如く前組合長宮内喜作氏を留置した儘關係者の取調べを行つてゐたが昨三十一日四名の關係者を最後の取調べとして一段落を告げたので宮内氏も昨夕一應歸宅を許されたが該事件は目下の處では宮内氏一人に留まる模樣でこれが横領額は三千餘圓の巨額に上つて居るが去る大正十四年當時の犯罪なのでその大部分は時効にかゝり處罰額は僅か二百圓内外と觀られ尚同署では同人に對する別方面の扶剔にも取りかゝるやうな險惡な氣を孕んで居る

。。。。郡下産組視察團　東西白河郡下産業組合金成主事補以下十四名の視察團一行は今一日二臺の自動車に分乘

平驛で 紅葉宣傳

平驛では明後三日から二日續きの休みを當て込み川前觀楓客の出足を唆る爲今一日から待合室入口に高さ丈際の川前の紅葉に桂月の歌を書いた立札を立て大いに宣傳に努めて居る

第三校兒童 海人草服用

平第三小學校では去る二十五、六の兩日全校生に海人草を服用せしめ其の後四日間に亘り排虫數を調査した結果
一年 男四七四匹 女二一九
二 男一五六 女一六六
三 男七七 女八一
四 男六九 女五一
五 男二二九 女一四
六 男四四 女一〇
で計一五九〇匹中女の五四一に對し男は約二倍の一〇四九で一人當り女約一匹、男二匹強を示し、一年男は土をいぢり、五年男は運動が亂暴なため最も多い

。。。。磐中兩敎諭出福　磐中吉田、沖原兩敎諭は來る二十二日福島市師範校に開催さる師範及び中學校公民科中主任會に出席する

。。。。。玉川兒童蝗捕り　玉川小學校では去る三十日から今一日迄三日間全校生徒にイナゴを捕らせこの賣り上げで近く運動具を購入する筈

。。。。。區域外で營業　平町田町七三人事周旋業滑川敏之助(四八)は九月十五日頃營業區域外栃木縣で藝妓の周旋をなし、此程平區より栃木縣令紹介營業取締規則違反で略式罰金十圓に處された

。。。。。毆つて科料十圓　双葉郡苅野村大字酒田字堂の内農鈴木武八(五二)鈴木助次郎(四五)の兩名は同字川原官有地及び官有林内で同郡浪江町權現堂陶器小賣佐藤精好が櫟十數本を伐採しながら否定するを憤り毆打したので此程平區より略式で各科料十圓に處された

。。。。。請願派出所工事　小名濱請願巡査派出所は目下工費千餘圓を投じ同町魚市場附近に建設工事中で來る十四日頃竣功すると

。。。。。厄介な出前持　平町田町七三飲食店やぶ事佐藤一男方出前持佐藤力哉(二〇)は去る二十八日午後九時頃主人より牛肉百匁を買つてくるやう渡された五圓札を持つた儘逃走、平署で目下捜査

誤叱府

去る十七日神嘗祭をトし第二校に開かれた平女子青年團の敬老會は既報の如く町内八十歳以上の高齢者六十一名を招き、種々の餘興接待に一日の歡を悉くさせたが當日出席者の一人である室直興翁は左記七絶を賦して女青團に贈つた

秋陽慰老發華莚
松竹青々亦爽然
欣見神童歌舞業
滿堂和氣已忘年
昭和九年秋招于敬老會
因賦之　八十八叟室直興

開店して まだ日が淺い……ハヤシ
品質と新型の自慢品をドコよりもお安く勉强致します……。
何卒御高覽の程を…

冬物…澤山入荷致しました
小中學生用外套、男女小學生オーバ、女學生婦人用オーバ、男女小學生通學服、婦人用文化コート、同高級コート、可愛らしいベビー服
生地裁斷 注文裁縫 直しもの無料サービス
平町三丁目角(マルトモ書店向ヒ)
婦人 子供 ハヤシ洋服店

自轉車ノ月賦販賣
御通知次第御伺ヒ致シマス。
エビスヤ自轉車店
平町南町 電六六四

磐城代表的の土産品
山。靈峰羊羹 里。柿羊羹 海。のり羊羹 各一本金十錢
右美麗三本箱入 特價三十錢
御旅のお出入に便宜な手頃のお土産品です
小賣御希望の方お申越下さい。
製造發賣元 小川郷驛前 平屋賣店